

人と技術で次代を拓く NIEITEC

Engineering Firm at The Core





Eclipse-GitHub連携





目次

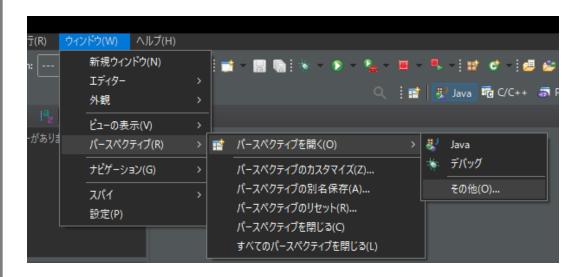
1. 「Git」のパースペクティブを開く	5~6
2. ローカルリポジトリの作成	7~8
3. プロジェクトの作成	9~11
4. 新規ファイル作成	12~13
5. ローカルリポジトリへのコミット	14~15
6. GitHubのアクセストークンを作成	16~19
7. リモートリポジトリへプッシュ	20~25
8. リモートリポジトリのクローン	26~33





「Git」のパースペクティブを開く

• Eclipseの「ウィンドウ」→「パースペクティブ」→ 「パースペクティブを開く」→「その他」を選択する。



• Gitを選択し、「開く」をクリック。





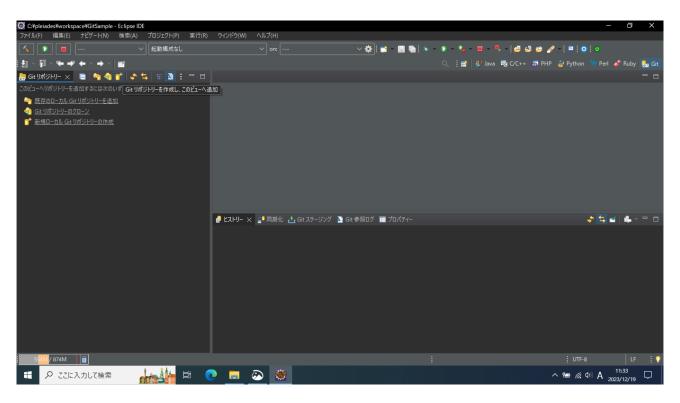


「Git」のパースペクティブを開く

• Gitのパースペクティブが作成される。



• Gitのパースペクティブをクリックする。

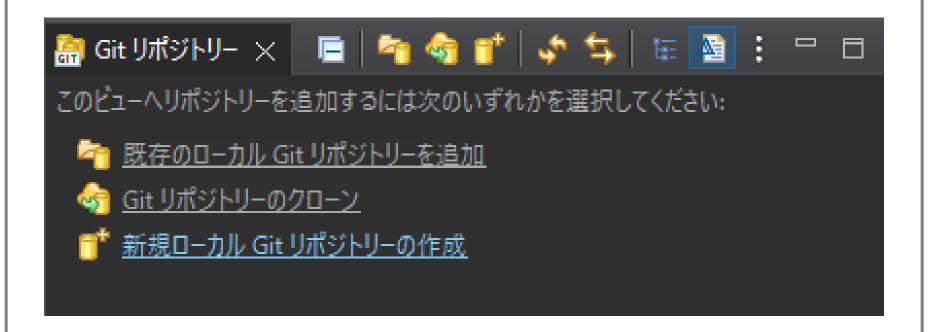






ローカルリポジトリの作成

「新規ローカルGitリポジトリの作成」をクリックする。





ローカルリポジトリの作成

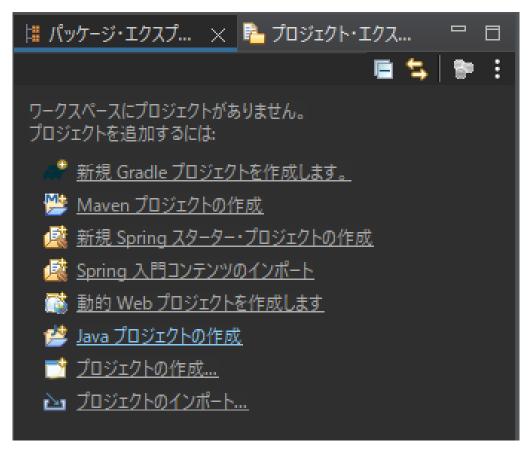
「参照」をクリックし、ローカルリポジトリのディレクトリを設定し、「作成」をクリックする。

🤶 Git リポジトリーの作成					×
新規 Git リポジトリーの作	成				
新規リポジトリーのディレクト!	リーを判別します				
リポジトリー・ディレクトリー(D):	C:¥Users¥new-kensyu¥		_	参照(<u>B</u>)
デフォルト・ブランチ名(N):	master				
■ Bare リポジトリーとして作	F成(<u>R</u>)				
		/h == 100		الطيلامنط	
		作成(<u>C</u>)		キャンセル	



プロジェクトの作成

「Java」のパースペクティブを開き「Javaプロジェクト の作成」選択します。







プロジェクトの作成

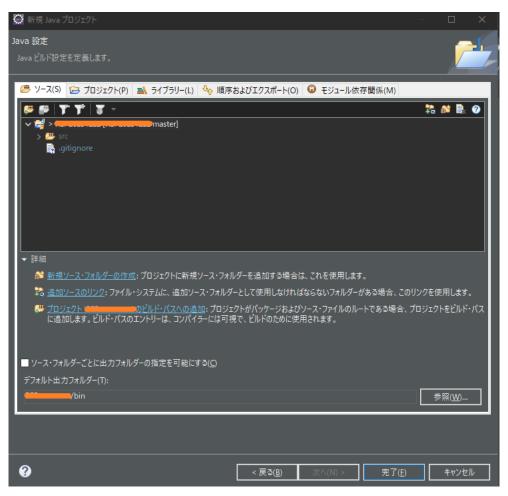
「プロジェクト名」を入力し「デフォルト・ロケーションを使用」のチェックを外し、「次へ」をクリックする。

● 新規 Java プロジェクト		_		×
Java プロジェクトの作成			_	
Java プロジェクトをワークスペースまたは外部ロケーションに作成します。				
プロジェクト名(P):				
■ デフォルト・ロケーションを使用(<u>D</u>)				
ロケーション(L): C:¥Users¥new-kensyu¥g		- 4	参照(<u>R</u>)	
-JRE-				
● 実行環境 JRE の使用(V):	JavaSE-17		~	
● プロジェクト固有の JRE を使用(S):	Java17		~	
● デフォルトの JRE 'Java17' およびワークスペース・コンパイラー設定を使用する(A)				



プロジェクトの作成

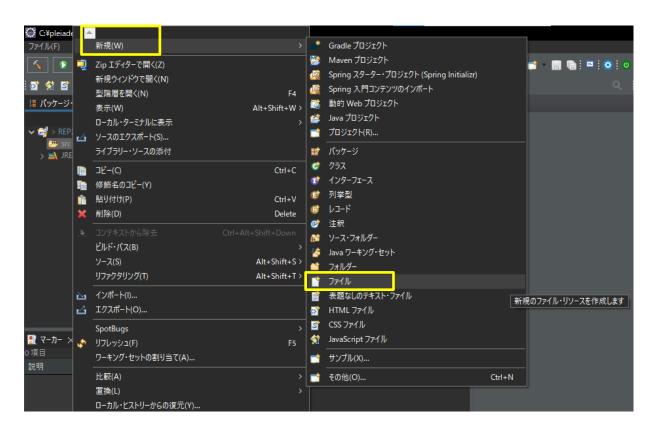
「完了」をクリックする。





新規ファイル作成

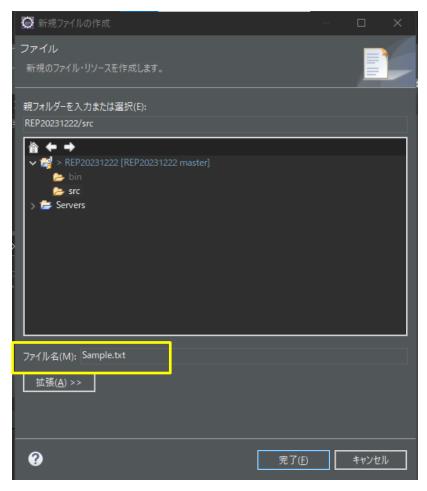
• 「Java」のパースペクティブで「新規作成」→「ファイ ル」を選択する。





新規ファイル作成

• 「ファイル名」を入力し、新規ファイルを作成する。





ローカルリポジトリへのコミット

 作成したファイルを編集・保存し、「Git」パースペク ティブを開き、addしたいファイルを選択し、
 レックする。

じストリー 🚅 同期化 🚣 Git ステージング 🗙 🔊 Git 参照ロ	グ 🎹 プロパティー
🧻 > REP20231222 [マスター]	
ステージされていない変更 (4)	+ 🌣 ⊨
.classpath .gitignore .project .Sample.txt - src	
ステージされた変更 (0)	



ローカルリポジトリへのコミット

「コミットメッセージ」を入力し、「コミット」をク リックして、「ステージされた変更」コミットする。

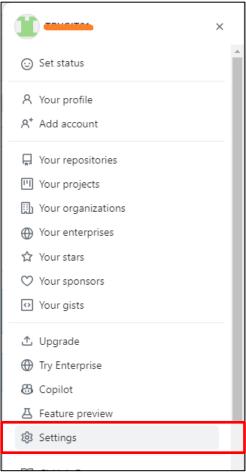






GitHubのアクセストークンを作成

GitHubの設定から「Settings」を選択する。





GitHubのアクセストークンを作成

• 「<>Developer settings」を選択する。

© Сорног	¿ Link to social profile
🗂 Pages	¿ Link to social profile
← Saved replies	
Security	¿ Link to social profile
	Company
① Code security and analysis	
Integrations	You can @mention your company
88 Applications	
Scheduled reminders	Location
Archives	☐ Display current local time
Security log	Other users will see the time di
Sponsorship log	All of the fields on this page are op- consent to share this data whereve
	about how we use this information
Oeveloper settings	Update profile



GitHubのアクセストークンを作成

• 「Personal access tokens」→「Tokens (classic)」を 選択し、「Note」を入力、「repo」にチェックを入れる。

	Q Type // to search
88 GitHub Apps A OAuth Apps	New personal access token (classic)
Personal access tokens Fine-grained tokens Beta	Personal access tokens (classic) function like ordinary OAuth access tokens. They ca over HTTPS, or can be used to authenticate to the API over Basic Authentication. Note
Tokens (classic)	CustomerRepo What's this token for?
	Expiration * 30 days The token will expire on Thu, Jan 18 2024
	Scopes define the access for personal tokens. Read more about OAuth scopes.
	✓ repo Full control of private repositories ✓ repo:status Access commit status



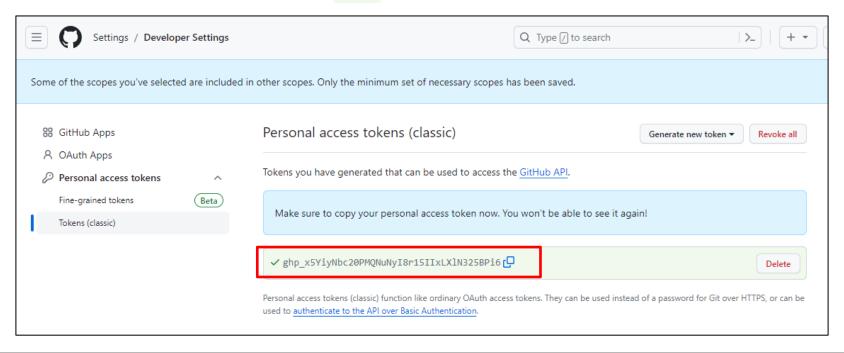


GitHubのアクセストークンを取得

「Generate token」をクリックする。

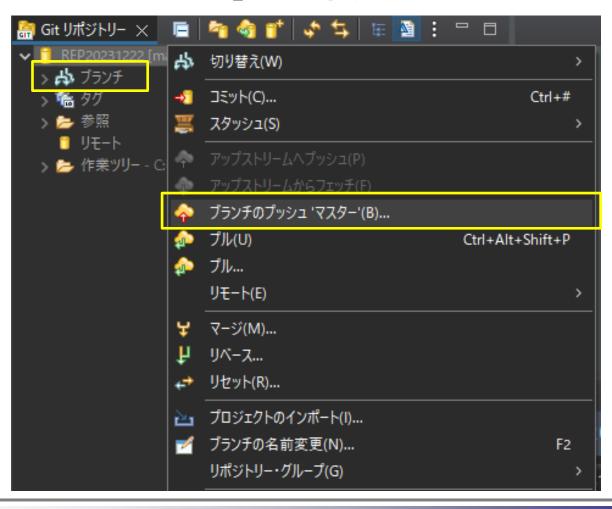


• トークンが作成され、 🖳 でコピーして使用する。





「ブランチのプッシュ」を選択する。





• URIを入力する。(GitHubでリポジトリを作成済み)

💆 ブランチのプッシュ master		– 🗆 X		
宛先 Git リポジトリー 宛先リポジトリーのロケーションを入力してください。				
リモート名(R): origin				
ロケーション https://github.com/inホスト(H): github.com リポジトリー・パス(R): / 「はない」	ngit	ローカル・フォルダー		
接続 プロトコル(L): https ∨ ポート(T):				
認証	パスワート	ヾは、GitHu	ubのアクセストーク	ン
ユーザー(U): パスワード(P: ●●●●●●●●●●●● ✓ セキュア・ストアに保管(<u>S</u>)	••••••••			
? < 戻る(B) ブル	ジュー(<u>V</u>) > ブッシュ(P)	キャンセル		





• 「プレビュー」をクリックする。

☑ ブランチのプッシュ master			
リモートのブランチへプッシュ		•	•
リモートおよびリモートのブランチ名を選択してください。			Î
ソース:			
📥 マスター 💆 128d929 1st commit			
宛先:			
リモート: origin: https://github.com/TRYGIT01/REP20231222.git			
ブランチ: master			
✓ プッシュおよびプルのアップストリームを構成する(U)			
ブル時: マージ ~			
■ リモート・ブランチが存在し分岐されている場合は強制的に上書きする(<u>F</u>)			
拡張プッ	ンコ	ダイアロク	を表示
? <戻る(B) プレピュー(V) > ブッシュ(P)	キャンセ	ル





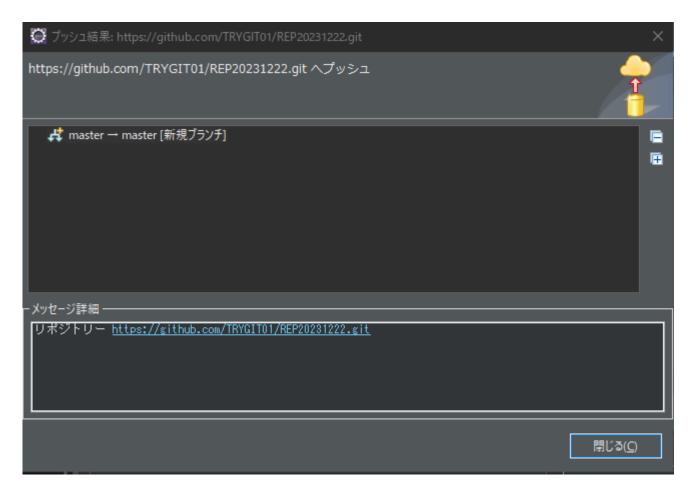
「プッシュ確認」画面で「プッシュ」をクリックする。

◯ ブランチのブッシュ master	_		×
プッシュ確認 以下のブッシュ予想結果を確認します。		•	↑
以下のノッシュア恐桁来を確認しよ9。			
ぱ master → master [新規ブランチ]			
メッセージ詳細 「リポジトリー https://github.com/TRYGIT01/REP20231222.git			
□ リモートの変更結果が上記と異なる場合にブッシュをキャンセルする ■ 上記の確認結果と異なる場合のみ結果ダイアログを表示する			
		キャンセ	ال





• リモートリポジトリへのプッシュ完了。

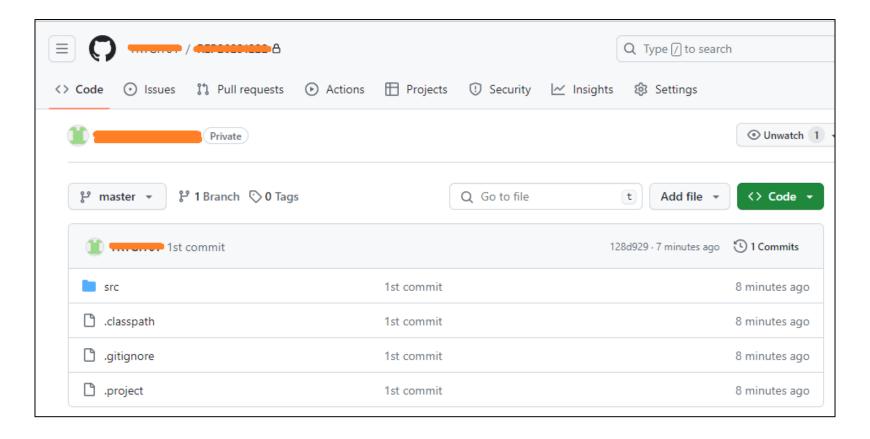






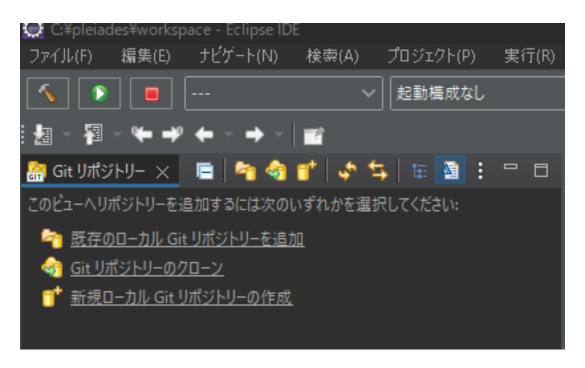
リモートリポジトリの内容確認

GitHubのリモートリポジトリにファイルがプッシュされていることを確認する。





- 他のユーザが作成したprivateリポジトリにアクセスできるようにしておく。(リポジトリの共有.pptx参照)
- 「Git」パースペクティブで「Gitリポジトリーのクロー ン」を選択する。







他のユーザが作成したリモートリポジトリの情報を入力し、「次へ」クリック。

_「 ロケーション	
URI(I): git ローカル・フォルダー ローカル・パンドル・ファイル	
ホスト(H): github.com	
リポジトリー・パス(R): /git	
	_
プロトコル(L): https ∨	
ポート(T):	
ユーザー(U):	
パスワード(P): ●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●	3
✓ セキュア・ストアに保管(S)	
() () () () () () () () () ()	
	_





ブランチを選択し、「次へ」とクリック。

https://github.com/TRYGIT02/REP20231225.git のブランチ(O):
フィルター入力
✓ ♣ master
すべて選択(S) 選択をすべて解除(<u>D</u>)
O コミットをフェッチするときはタグもフェッチする
 すべてのタグとそのコミットをフェッチする タグをフェッチしない タグをフェッチしない コミットをフェッチをフェッチをフェッチをフェッチをフェッチをフェッチをフェッチをフェッチ
(P) 大へ(N) > 完了(F) キャンセル





ローカルリポジトリを設定し、「完了」をクリック。

ディレクトリー(D): C:¥Users¥new-kensyu¥giŧ¥DED20224225 参照(<u>W</u>)
初期ブランチ(H): master
■ サブモジュールのクローン(<u>S</u>)
構成
リモート名(M): origin
プロジェクト ── クローン終了後、すべての既存 Eclipse プロジェクトをインポート(<u>l</u>) _ ワーキング・セット ── ── ── ──
■ ワーキング・セットにプロジェクトを追加(<u>T</u>) 新規(<u>W</u>)
ワーキング・セット(O): <a> 選択(E)
(P) 次へ(N) > 完了(F) キャンセル





「Java」のパースペクティブを開き、「ファイル・システムからプロジェクトを開く」を選択する。

C:¥pleiades¥workspace - Eclipse IDE											
ファイ	ル(F)	編集(E)	ソース(S)	リファクタリン	グ(T)	ナビゲー	- - (N				
	新規(N	l)			Alt+Sh	ift+N	>]				
	ファイル	を開く(.)					ı				
<u>-</u>	ファイル	・システムから	プロジェクトを	開く							
	最近使	うたファイル				:	>				
	エディタ	−を閉じる(C)			C	trl+W					
	すべての)エディターを[閉じる(L)		Ctrl+Shi	ift+W					



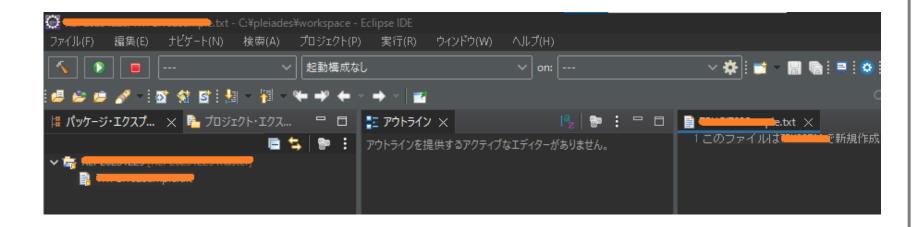


リモートリポジトリをクローンしたローカルリポジトリをプロジェクト先に指定する。

ファイル・システムまたはアーカイブからプロジェクトをインポート								
	ムまたはアーカイブからプロジェクトをイ! ジェクトを検索するフォルダーまたはアーカイブ・ファイ		च					
[}] インポート・ソース(I):	C:¥Users¥new-kensyu¥git¥			> ディレクト				
フィルター入力								
フォルダー			インポート	選				
· 🗾 🗷 🕶								
				1から1を選択				
<u>インストールされたプロ</u> ✓ ネストされたプロシ	チャーの検出および構成(<u>C</u>)			」■ すでに開い、				



「Java」パースペクティブで、クローンしたリポジトリの内容が編集可能なことを確認する。









以降の「ローカルリポジトリへのコミット」→「リモートリポジトリへのプッシュ」は、ローカルリポジトリの操作と同じ。